

新しい歴史教科書をつくる会

つくる会 FAX 通信

第 165 号

平成 18 年(2006 年)3 月 1 日(水)

送信枚数 2 枚

TEL 03-5800-8552

FAX 03-5804-8682

<http://www.tsukurukai.com>

「FAX 通信第 165 号」の全文取り消しについて

平成18年3月1日

新しい歴史教科書をつくる会会長

種子島 経

昨日2月28日午後6時ころから「八木会長「解任」。新会長に種子島理事を選任。」というタイトルのついた「つくる会FAX通信第165号」と称する文書が送信されました。

これは種子島会長が昨日午後4時に発信を指示したFAX通信の内容をさしかえた者が流したもので、全文を取り消します。種子島会長が指示した本来の文書を以下に掲載します。これを本来のFAX通信第165号としてお取り扱い下さい。

新しい歴史教科書をつくる会の人事についてのお知らせ

平成18年2月28日

新しい歴史教科書をつくる会会長

種子島 経

新しい歴史教科書をつくる会は、2月27日に理事会を開き、八木秀次会長、藤岡信勝副会長が理事会の決定に基づきそれぞれ辞任しました。また、宮崎正治事務局長は、2月末日をもって退職することが決定しました。

新しい会長に、種子島経を選出し、副会長と事務局長は近日中に選ぶこととしました。これら一連の人事について、若干の背景説明をさせていただきます。

当会では、昨年9月に、宮崎事務局長の退任人事が進められましたが、当人の同意を得ることができませんでした。

去る1月16日に開催された理事会でも意見集約ができず、その結果、西尾幹二名誉会長と、遠藤浩一、工藤美代子、福田逸、藤岡信勝の四人の副会長が一斉に辞任、または辞任の意思を表明しました。そのうち、藤岡副会長は、関係者の説得により副会長に留まりました。

その後、解決に向けて執行部内で努力が続けられましたが、2月27日の理事会では、まず、宮崎事務局長について、事務局長としての資質と会の運営を混乱させた責任を問い、退職を決

めました。次いで、八木会長については、この間の会運営について指導力を欠き、事態を混乱させた責任が問われ、辞任が決定しました。また、八木会長は、昨年12月、事務局員数名と中国を訪問し、知識人と歴史認識について討論しましたが、その旅行についての軽率さが批判されました。藤岡副会長については、執行部の一員としての責任を問う形で辞任が求められました。

ここまでの決定により、昨年9月の総会で選出・紹介された執行部は全員姿を消す形となり、新たに種子島理事・元副会長を会長に選任し会の再建に当たらせることになりました。

会員の善意と浄財で成り立つ当会で、このような不祥事が起きたことは誠に遺憾であり、関係者に深くお詫び申し上げます。もとより力不足ではありますが、ゼロ・ベースからの会再建を目指し、より広く会員の声を反映させるシステムを取り入れるなど、会の前進のため精力的に取り組んで参る所存ですので、皆様方のご支援とお力添えを切にお願い申し上げます。

(以上)

新しい歴史教科書をつくる会
会長

種子島 経 (たねがしま おさむ) 元 BMW 東京(株)社長

昭和 10 (1935) 年、福岡生まれ。東京大学教育学部社会教育学科卒業後、同法学部私法コース卒業。川崎重工業入社後、アメリカ・ドイツ等での勤務を経て、BMW 社に転じ、BMW 東京(株)代表取締役社長、同社特別顧問、フォルクス・ワーゲン・グループ・ジャパン(株)特別顧問を歴任。平成 11 年から新しい歴史教科書をつくる会理事、平成 13 年から 17 年まで副会長、昨年秋より再び理事。平成 18 年 2 月 27 日付で会長に就任。

著書として『モーターサイクル・サム、アメリカに行く』（プレジデント社 1976）、『Z1 開発物語』（グランプリ出版 1985）以上、1990 年にライダーズ・クラブ社より再版。『異色のライダー清原明彦物語』（グランプリ出版 1985）、『外資系の強さを日本企業に生かす 82 のポイント』（第二海援隊 1999）、『くたばれ！リストラー 日露戦争に学ぶ経営・人生』（ミルトス 2002）などがある。